



少子高齢化がすすむ地域。課題を抱えているのは高齢者だけではありません 子供や、子育てについて皆で考えてみませんか？



私たちの町は、子供の成長を見守り、支えていく地域？安心して育ち育てられる地域？

少子化の進む中、単身世帯や共働き世帯が増加し、他方では晩婚化や子供の独立の遅れもみられます。

横浜市の、15歳未満の年少人口は全国平均よりやや低い13.9%、また合計特殊出生率(女性一人あたりの生涯出生児数)は1.19人。私たちの町の数値は、横浜市の数値より更に低く今後ますます子供の数は減り、少子高齢化の流れは加速していくことが予想されます。

横浜市民の平均年齢は、昭和35年で28.5才でしたが40年後、40.1歳に上昇しました。町の風景は、高齢者の姿が多く子供の姿が少なくなっていると思われます。

このような状況下、私たちの町では、子ども達はどのように生活しているでしょうか。子育て上の問題を抱える家庭はないでしょうか。

これまで「ひろば」では、高齢者にスポットをあて、現状や、支援情報等についてお知らせしてきました。「皆が安心して生き生きと生活できる町」であるためには、子供や子育てについても考える必要があるでしょう。今号からは3回を予定して子供や子育てについて、桂台地域ケアプラザ支え合い連絡会、広報分科会、子育て支援分科会が協力しまして、地域の現状や、支援情報等についてお知らせしていきます。

目次

- ・子育て特集号を発行するにあたり…… ページ1
- ・みんなで学ぼう介護のいろいろ…… ページ6
- ・みんなで考えましょう「安全・安心の子育て」…… ページ2
- ・第10回「支え合い連絡会」では、…… ページ7
- ・ご存知ですか？ 私達の町の子育て支援…… ページ3
- ・この町・この人・こんな会 編集後記…… ページ8
- ・こんな人達が、子育て支援のお手伝いをしています…… ページ4, 5

みんなで考えましょう「安全・安心の子育て」

少子化、核家族化、共働き家庭の増加等、社会や家庭環境の変化の中で、安全・安心の子育てができる地域であることが求められます。安全安心の子育てには、どのような要素が必要なのでしょう。

乳幼児の子育ての形態は、親のライフスタイルによって大きく異なります。特に両親が共働きかどうかによって子育てのニーズは違ってきます。

0から3歳児の母親が、家族以外の協力で必要なものとしてあげたのは「共感してくれる人」「子連れで気楽に出かけられる場」「子供と離れる時間」(神奈川県子育て連携会議調査)の3つだそうです。身近な地域コミュニティのなかに、子育ての環境がどのように用意されているのかは、安全・安心の子育てにおいて要素のひとつでしょう。

また、共働き家庭で、子育てと仕事を両立するためには、子供を預ける保育環境が重要ですが、同時に、突発的な子供の病気などに臨機応変に対応する地域や家族のサポート機能は子育ての安定感を左右します。

また、**学齢期の子育て**については、市民意識調

査によれば、「学校教育の充実」や「青少年の健全育成」に高い要望があります。

学齢期の子育ての不安は、子供の友達関係・生活環境と子供の進路の2つが最も大きいようです。そのような要望や悩みに対応するための、身近な地域の社会資源、また、子供や保護者が安心して相談をすることのできる体制も必要になるでしょう。

今号では、私たちの町に、子供や子育てのために、どのような支援 あるいは、支援者が存在するかを地域の皆さんに紹介したいと思います。

桂台地域ケアプラザ

コーディネーター 佐塚玲子



「なぜ子育て支援が地域で必要なの」

地域に暮らす人達と顔見知りでなくなった、気軽に頼み事ができるご近所関係がないと感じはじめてどれくらい経つだろう。

家庭の中での困り事が起ったとき、核家族家庭で、家庭内では解決が困難なときの助っ人は、今も「遠くの親戚より、近くの他人」ではないでしょうか。

子育てについては、少子化の中、孤立化した子育てになり、育児不安を抱えるお母さんが増えています。また、不安感が増す中で、養育上の問題が生まれてくる事も少なくありません。

少子化は進み、人と人の人間関係も希薄な時代といわれている、今であるけれども、子供や、子育てに優しい、地域づくりが必要だと思います。

今後3回にわたって、取り上げられる「子供や子育て」についての記事から、まず、地域の子育てについてたくさんの方々に関心を持ってくださることを願っています。

支え合い連絡会

子育て分科会 木暮寿子

ご存知ですか？私たちの町の子育て支援

私たちの町には、子育てを応援する、たくさんの支援活動があります。

		年齢	活動場所・時間	活動内容	問合せ先
相談	公立保育園 児童相談	0才～	各保育園、桂台保育園 の他に飯島・公田	しつけ、遊び、発育の事、子育ての心配事 についてアドバイスしています。園庭開放育 児講座、交流保育も行っています。	各保育園 桂台保育園 894-1374
	子育て相談	0才～	本郷地区センター 毎週木曜日 10:00～12:00	子供の事や母親自身の事など気になる事 があったり、友達が欲しい方。子供を遊ばせ ながら母親同士の情報交換ができます。	福祉保健センター 子供家庭支援 894-8410
	サポート センター径	0才～	サポートセンター径 月～金曜日 9:00～17:00	障害を持つ方(お子さんから成人まで)の 相談を受けています。おもちゃ文庫も併設 されているので、未就学児や障害のあるお子 さんも遊ぶことができます。	サポートセンター径 897-1101
	桂台地域 ケアプラザ	0才～	桂台地域ケアプラザ 月～土曜日 9:00～21:00 日曜・祭日 9:00～17:00	子育て支援サービスの紹介、交流の場等の情報提 供などを行っています ケアプラザの事業として子育て講座 中学生対象 のボランティア講座等も行っています	桂台地域ケアプラザ 897-1111
託児	子育て サポート システム			子育ての援助を受けたい人と援助を提供したい人 が会員登録をし子育て支援を行っています。提供 会員の自宅で子供を預かっています。	社会福祉協議会 894-8521
	OYAKO CLUB チューリップ		時間・利用料等 詳しくは 問い合わせして下さい。	お母さんの子育てサポートを目的に、定期 保育・一時保育・フリースペース(遊び場) 保育付き教室(フラワーアレンジ・陶芸・ト ールペイントパソコン等)を行っています	OYAKO CLUB チューリップ 894-6262
	たすけあい栄			高齢者の在宅支援(家事援助・身体援助) を中心としておりますが、子育て支援(保育 園の送迎、親病時の託児)も行っています。	たすけあい栄 グループ桂台
	グループ桂台				
	横浜市認定 横浜保育室 くでんあす なる保育園			一時的、または不規則な保育。例えば、仕 事、家族の介護、保護者の病気や出産、求 職活動などの場合対応します	あすなる保育園 891-8036
子育てサークル	0才～ 就園前	ケアプラザ等のホールや公園 主に午前中に活動		地域の子育て中の母親と子供が月1～2回 集まって活動しています。近所に同じ年位 の子供がいない、顔見知りの子育て仲間が いない方など多数のサークルがあります。	福祉保健センタ 子供家庭支援 894-8410
育成	子育てサロン 井戸ばた しちやおう会	幼児 小学 高学年 中学生	第4木曜日 10:00～12:00 第3水曜日 10:00～12:00	地域のお母さん達が集まっておしゃべりを 楽しむ会です。申し込みなしです、気楽にど うぞ。お茶とお菓子を用意しています。 参加費 100円です。	桂台地域 ケアプラザ 897-1111
	学童保育所	小学生	月～土曜日放課後 長期休の間	本郷台風の子クラブ 公田学童保育所	
	はまっこ ふれあいスクール	小学生	放課後、土曜日 長期休の間	桂台、公田、犬山、矢沢、本郷 各小学校に設置	
	フリー スクエア	中学生 高校生	第2・第4土曜 18:00～20:45 本郷小学校体育館 毎週水曜日 14:30～18:00 桂台地域ケアプラザ	本郷小学校体育館ではスポーツを中心に、 桂台地域ケアプラザではおしゃべりするな ど、自由にすごしています。みんなのたまり 場です、気軽にきてみて下さい。	桂台地域 ケアプラザ 897-1111
交流					

* ご不明な点がございましたら、お問い合わせください 桂台地域ケアプラザ 897-1111

たくさんある支援の窓口から、何名かの支援者やグループを紹介していきます。
連絡先等の問い合わせは、桂台地域ケアプラザまでお願いします。

児童委員・主任児童委員

厚生労働大臣より委嘱を受け、児童に係わる機関と協力して、妊産婦・乳幼児の生活や子ども達の健やかな成長を見守り、その手助けする役割を担っています。

どうぞお気軽にご相談ください。
プライバシーは、必ず守ります。

子ども達がいきいき育つまち

児童委員

民生委員が兼任しており、現在栄区では 143 人の委員が、担当地区を持って活動しています。

主任児童委員

連合町内会単位に 2 人置かれ、現在 14 人の主任児童委員が、地区担当児童委員と協力して、子育ての支援や児童をめぐる相談援助、環境づくりを中心に活動しています。

青少年指導員

青少年の自主活動とその育成活動を推進することにより、地域ぐるみの青少年健全育成を図るため、自治会・町内会等からの推薦に基づいて、500 世帯に 1 人の割合で横浜市長、神奈川県知事より委嘱されています。栄区の委嘱数は 99 人で任期は 2 年です。(H 15.2.1 現在)

活動の広がり

私達は、青少年の健全育成の推進役として中学生の参加を促したり、親子参加行事を企画したり、子ども達の声が聞きたいと、生徒・児童・地域の座談会を試みたりしています。まだまだ課題が山積みです。

毎年 3 月に青少年指導員活動の中で最大のイベント「ヤングフェスティバル」を中学校の生徒達と企画実施に取り組んでいます。



こんな人たちが 子育て支援の

子育て支援者

就園前の子どもと保護者が対象で、育児中の保護者が孤立しないように相談対応をおこないます。

横浜市の衛生局からの委嘱で、支援者数は栄区内で現在 3 名います。

活動内容

子育て相談

保育園、地区センター、コミュニティーハウスの区内 3 ヶ所で、週 1 回相談を受けています。相談がなくても、同じ子育て中の仲間と子どもを遊ばせながら、お話できる場でもあります。

グループ支援

子育ての自主グループが活動している所へ直接出向いて遊びの紹介や子育ての相談にのります。また、区が毎月 1 回実施している育児教室へのお手伝いもしています。

径・桂台地域ケアプラザ

地域で暮らす高齢者、障害者、児童、その家族に対して、様々な生活に係わる相談に応じるとともに、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用等についての支援を行います。

径の相談事業

- ・ サービス利用のお手伝い
- ・ 就労、移動に関する情報提供
- ・ コミュニケーションに関して支援
- ・ 他の関係機関とネットワークとの連絡調整

桂台地域ケアプラザ

在宅介護支援センター・地域交流部門

- ・ 地域に住む全ての人々を対象として、福祉サービスを提供していく
- ・ 子育てや、障害児者への相談
- ・ 介護保険や介護サービスに関しての相談
- ・ 介護予防サービス

- 子どもにどう関わったらいいの・・・
- 近くに親などの育児支援者がいない・・・
- 初めての子育てで戸惑ってしまう・・・
- 子どもの事を気軽に話せる人がいない・・・

そんなママ達の支えになれる様、私達では保育士・看護師・先輩ママ達と共に、「一時保育」「おやこのひろば」(横浜市「おやこの集いの広場補助事業」)等を行っています。

活動5年目になり、利用して下さるママから「チューリップがあつて良かった」「実家が遠いので助かった」等のお言葉を頂ける様になりました。

「おやこのひろば」では子育てアドバイザーによる子育て相談も行っています。また、保育つきの教室を各種行いママのリフレッシュタイムとして好評を得ています。

子育て中のみなさん、一緒に話そう、笑おう、遊ぼう！一緒に子育てを楽しみましょう！

港南台 竹内泉

栄区内で家事サービスを提供をしたり、介護保険の事業所にもなっており、地域の中にあるいろいろな「困った」に対応しています。

○産前産後のお世話 ママの入院中、家事や子守り、退院後床上げするまで、おばあちゃん世代のベテランママがサポートしています。

○乳幼児検診、通院の付き添い 留守番の出来ない子どもの場合などは、一緒について行って病院内で子守りをします。

○子守り 親の介護に行きたい、家族の看護、母親本人の病気やケガ、幼稚園や学校の行事に参加したいという要望にも応えています。

○障害のあるお子さんの見守り、送迎付き添い
○軽い病児のお世話・一人親家庭のサポート

様々なケースがありますので何か「困った」が発生したら相談してみてください。色々な方法が見つかると思います。

上郷町 和泉香代子

お手伝いをしています

フリースクエア

自由空間

**何をするもよし！、しないもよし！
子どもたち(中学生、高校生)が自由に過ごせる空間です！**

本郷小学校のコミュニティーハウス、ケアプラザのボランティアコーナーを開放し青少年指導員が中心になり、青少年が自由に集れる居場所作りを目的としています。

放課後居場所の無い、青少年達が自由に集りストレス解消になったり、仲間作りが出来ればと思っています。フリースクエアの仲間達がボランティア活動に参加したり、この「居場所」がほんの少しずつ地域に根付きつつあるのではないのでしょうか。もっともっと地域交流の場が広がって行く事を期待しています。

公田町青少年指導員 有友フユミ

育児サークル

栄区には多くの育児サークルがあり、月に1、2回屋内での手遊びや工作、屋外の遠足や公園遊びなど様々な活動をしています。

サークルは大きく分けて2種類、お誕生学習会を経て発足する物と、昔からある地域のサークルです。前者は月齢が近いので同じ遊びができ、一緒に成長していく所を見守っていけます。育児で不安な所を相談したり共感したりと一緒にサークルを作っていく感じです。後者は年齢差がある為、一緒に活動する際、上の子が下の子に教えてあげたり遊んであげたり、見習ったり慕ったりといった思いやりの心を学び、お母さん同士も先輩ママの助言を聞く事も出来ます。

サークルは仲間作りを前提としている為、初めての人でもすんなりと遊びに入れると思います。育児で不安な中、相談する人がいるのは心強いし、子どもの遊び相手が見つかるのも嬉しいです。

もちろん親同士の友達作りも出来ます。

一度見学に行っただけではいかがでしょうか。

みんなで学ぼう介護のいろいろ 2004

我が国の高齢化は深刻の度を増しています。とくに高齢の親を抱えておられる方にとっては介護の問題はとて深刻です。地域の人々に平素から「介護の基礎知識」を蓄えておいて頂くため、桂台地域ケアプラザでは介護講座を毎年開講して来ました。まだ講座に参加されたことがない方々は来年こそ是非受講されるよう強くお勧めします。

今年の介護介護教室はつぎのように開催されました。

開催	日程	内 容	講 師
第1回	1/30	介護講座をはじめるにあたって 私たちの町の高齢化と介護の現状	桂台地域ケアプラザ地域 コーディネーター 佐塚玲子
第2回	2/5	介護保険の利用法 サービス提供のいろいろ 事例で紹介	栄区福祉保健センターケースワーカー ケアマネージャー 川中洋至 勝呂朋子
第3回	2/12	介護保険サービス デイサービス 在宅ホームヘルプサービス	桂台地域ケアプラザデイサービス担当 横浜市福祉サービス協会ヘルパー 松崎・満木 小塚恵子
第4回	2/19	特養老人ホーム、老人保健施設 みんなの疑問にお応えします	社会福祉法人朋光会 伊東文章
第5回	2/23	痴呆症ってどんな病気？ 痴呆性高齢者グループホーム	横浜市立大学付属病院 相談室 相談室 桂台地域ケアプラザ 所長 原 彰彦 生田目昭彦
第6回	2/27	介護の実際を学びましょう 介護を助ける福祉用具・住宅改修	栄区福祉保健センター 保健師 アイリスケアショップ 福祉用具相談員 北林ひろみ
第7回	3/4	成年後見制度 私たちの生活を守る制度です	神奈川県社会福祉士会会長 高島さち子
第8回	3/11	介護で困ったら・・・在宅支援センターへ 何でも相談してください！	桂台地域ケアプラザ在宅支援センター 永久保隆子

介護教室を夫婦で聴講して

介護教室で夫婦一緒に有意義な勉強をさせてもらいました。咀嚼不十分で疑問が山積みですが「介護」のアウトラインがおぼろげながら把握できたと思います。

夫唱婦隨で夫婦参加を決めました。夫の参加理由は、会社を辞めたばかりで、時間が有り余っていた。将来自分が介護される時に「良き介護され人間になりたい」と思っていた。2年前、父の看病がうまく出来なかったので介護のやり方を習熟したかった。

講座申込は夫です。妻は田舎の父の介護に役立つのではないかと考え一緒に参加しました。聴講して以来、夫婦共通の話題ができました。会話が弾みますし、知識が同じレベルになって、夫の独断的な意見の押し付けが成り立ちません。自分たちの親の介護について話し合うことが出来ました。そしてまだ親が二人とも元気でいてくれることに感謝しました。

桂台南 片岡俊樹 / 郁子

介護者講座に参加して

私は桂台地域ケアプラザ地域交流部門の一スタッフですが、私自身、70代後半からまもなく90代に手が届く老親4人を抱える身でもありますので、仕事の知識補強を兼ねて、介護者講座に一受講生として参加させていただきました。講師の先生方からは介護される側に立ったお話を聴かせて頂き、多くのことを学ぶことができました。これからますます地域に根ざし、地域に開かれたケアプラザを目指して努力して行かねば、との思いをいっそう強く持ちました。

公田町 石黒佳代子



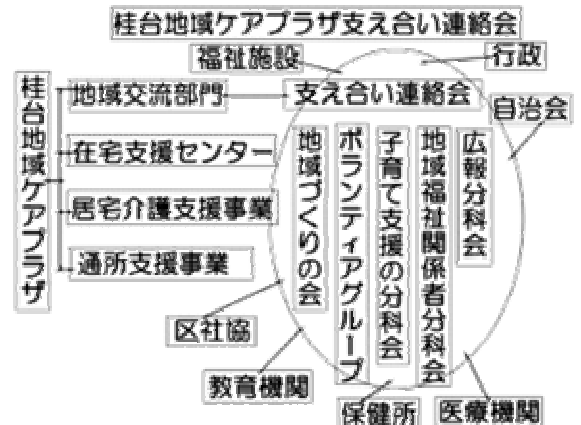
第10回「支え合い連絡会」では、こんな事が議論されました。

「支え合い連絡会」の活動を、地域の皆さんは、もうご存じでしょうか？

- 皆が安心して生き生きと生活できる町 である事を目指して、右図のような組織で運営しています。

発足以来、3年半、地域のなかにネットワークが築かれ、地域でサービスや支援を必要としている要援護者を発見しサポートを行ったり地域のニーズに合った地域活動サービスを作るなど、歩みを進めています。

ひろば8号では、3月31日に開催された、第10回全体会の様子をお知らせします。



地域役員、ボランティアグループ、子育て支援者等から、地域における課題や、具体的取り組みについての報告がされ、行政への要求も多数出された。

関係機関や団体間の情報交換の場として、全体会がよく機能しているように思えた。支え合い連絡会で、検討される内容について、所管が細分化されている行政が、全体会議で出される、質問や要望に、明確な回答が得ることができない事は残念である。行政の施策と、支え合い連絡会の活動の整合性をもって協働の町づくりを実現することに、現在行われている地域福祉計画が解決策となってくれる事を期待した。

連絡会全体として考えなければならない事

地域役員の活動(連合町内会、民生委員、地区社協)とボランティアの活動が、有機的に連携していく事が重要な時期になってきているのではとの指摘があった。この問題については、地域役員間でまず、連合ごとに情報交換を行う地域福祉関係者分科会を早期に開催することとなった。今後の活動についての案、要望としては、地域ケアプラザで行われている、各種講座を自治会単位の小さな区域別に各地域の特殊性に対応したのものとして、ボランティアの協力を得て実施する。

各自治会で重要課題となっている防犯、防災について、支え合い連絡会でも、共に取り組みを進める。栄区内、他の地域ケアプラザ支え合い連絡会がどのように活動をし、どのような問題に直面しているのか知る機会を作る。などが提案された。

移送問題の解決が依然として先が見えない。

再三この全体会でも指摘されているように、交通の便

や山坂の多い、高齢化率の高まる私達の町では、移送サービスのニーズがより高まっているが、ボランティアの保障の問題等、様々な問題を残したままになっている。支え合い連絡会ボランティアグループ分科会の提案により、区域で移送サービス検討会が立ち上がり、送迎サービスの NPO 団体や、横浜市移動サービス協会のヒヤリングを行い、今後の栄区移送サービスのあり方について解決策を見出そうとしているが、全体会で区社会福祉協議会より、移送に関しては、保険、道路交通法等、多岐に渡る法律のあり方が変わらない限り、現状への対応は難しく、国レベルの問題であると説明があり、暗礁に乗り上げた状況である。しかし、移送サービス検討会は、今後も継続して行く。

地区福祉計画策定と支え合い連絡会との関係

2つの他の地区分科会が修了し、4月から我々の地区の分科会が始まる。本年8月には全体を纏めて報告集を発行する。この内容は支え合い連絡会も共有化して、行政と協働できるような体制に持って行きたいと行政から説明があった。分科会では、課題/目標/できる方法を求めて議論したいと要望が出された。

支え合い連絡会の設置目的の確認

発足時に出された設置目的を確認し、行動の方向が正しいか再確認がなされた。概ね、当初の方向付けと同じ道を進んでいると全員が認識した。関係者の入れ替わりもあり、随時方向を確認しながら行動の方向を決めて行く事が大切だと再確認をした。地区福祉計画が支え合い連絡会の後押しとなってくれる事を願う。

春のほのぼの交流会

この町この人こんな会

3月6日(土) 12:00~16:30、私達が住む地域で活躍しているサークル、クラブの方々にご協力戴き“春のほのぼの交流会”が行われました。この企画は昨年(3月9日)開催した春のほのぼの音楽会に続いての第2回目ですが、今回は音楽会に加え作品展を同時開催することとなり、名称も“春のほのぼの交流会”としたものです。

作品展に出品された8つのグループ、桂台ケアプラザで初めての作品展のため恐る恐るの出品依頼でしたが、各グループ共快く応じて戴きました。

いつもは、ボランティアコーナーとして使用されているこの部屋も今日は一変してミニ美術館、狭いスペースながらも中身の濃い作品展会場とな



音楽会風景 スケッチ・尾月桑野さん

りました。作品展を通して様々な交流が生まれたようです。又ちぎり絵で出品された90歳を超えた方は先生のお陰で長く続けられています・・・との感謝の弁がありました。

音楽会に出演された4つのグループ、ミュージカルに、フラダンス、マンドリン・オーケストラに、栄青少年少女合唱団、何れもこの地域に限らず幅広く活躍しているグループで会場と一体化した演奏は作品展に出品の作品群と共に 聞き応え、見ごたえある、いづれもプロと間違えう程のもの(中にはプロの方も)。まさに、“春のほのぼの交流会”そのものでした。

と一緒に 広報ボランティア しませんか！

広報誌「ひろば」や「ホームページ」作りに参加してみませんか？

共に学びあえることって！素敵じゃない。老若男女あつまれ！

年齢不問。好きな分野、得意な分野での参加も大歓迎。

貴方のお知恵、提供して下さい

広報分科会

せっかく習ったパソコン使わないと上達しないよ

編集後記

支え合い全体会に出席して感じたのは、障壁克服の熱意のすごさです。(尾月J・N)

88歳の母がこちらでお世話になっています。お返しと思い「ひろば」の編集に参加させて頂きました。大変勉強になっています。(犬山T・S)

子育てはやり直しのきかない大事業です。未来の日本を担う子供達、少子化の今みんなで取り組むことの必要性を痛感致しました。(桂台南H・N)

60歳を越えてからの子育てテーマへの取り組み、〇XΔ??ばかりでした。今後の社会の担い手です

理解する努力も必要のようです。(上之町K・K)初の「子育て特集号」30~60歳代の広報分科会それぞれの子育て観に議論白熱でした(R・S)。子育て支援者の方々のご協力を得て、地域の子育て事情を学びながら作業を行いました。これから3回にかけて、沢山の情報を皆さんにお届けしていきたいと思います。(T・K)

編集製作 支え合い連絡会広報分科会

お問合せ 桂台地域ケアプラザ

TEL 045・897・1111 佐塚・楠原

「ひろば」創刊号~7号のバックナンバーは、桂台地域ケアプラザにあります。